

# 平成 22 年度ジェネリック医薬品採用状況等調査実施要領

## 1 目 的

県内保険薬局におけるジェネリック医薬品の採用状況等の調査を実施し、医療機関等での選択の参考となるよう採用リストを作成配布し、ジェネリック医薬品の使用促進を図る。

## 2 調査内容

県内保険薬局におけるジェネリック医薬品の採用状況の調査を行う。

### (1) 調査対象

県内保険薬局

### (2) 調査項目

- ア 医薬品採用品目数（先発・ジェネリック別）【H22.9.30 現在】
- イ 後発医薬品調剤体制加算状況【H22.9.30 現在】
- ウ 取扱い処方せん状況（後発医薬品への変更処方せん枚数）【H22.7.1～H22.9.30】
- エ 先発医薬品からジェネリック医薬品への変更に関する意見等
- オ 採用ジェネリック医薬品の名称・対応先発医薬品の名称【H22.9.30 現在】
- カ 先発医薬品からジェネリック医薬品への変更実績【H20.4.1～H22.9.30】
- キ 変更した後発医薬品から先発医薬品へ戻した実績【H20.4.1～H22.9.30】

## 3 調査方法

(1) 調査票：別添「平成 22 年度ジェネリック医薬品使用状況等調査票」による。

### (2) 記入方法等

- ア パソコンにより入力する場合（フロッピーディスクが使用できる場合）  
同封のフロッピーディスク内のエクセルファイルに該当事項を入力する。
- イ パソコンにより入力する場合（フロッピーディスクが使用できない場合）  
薬事管理課あて様式送付依頼のメール（アドレス：yakuji@pref.nagano.lg.jp）を送信し、薬事管理課から返信された添付ファイルに該当事項を入力する。
- ウ パソコンによらない場合  
別添調査表に該当事項を記入する。

## 4 提出方法

フロッピーディスクに入力した場合は、フロッピーディスクに薬局名を記載し、同封の返信用封筒により薬事管理課あて送付する。

薬事管理課からメールにより返信された添付ファイルに入力した場合は、薬事管理課あてメールにて送付する。

フロッピーディスクを使用せず調査票に直接記入した場合は、記入済み調査表を 1 部同封の返信用封筒により薬事管理課あて送付する。

## 5 提出期限

平成 22 年 12 月 3 日（金）

## 6 リストの作成・配布

調査結果を集計し、採用リスト等を作成の上、県内医療機関等へ配布する。

なお、薬局個別の情報としての公表は行わないものとする。（薬局名は公表しない。）

## 平成22年度ジェネリック医薬品使用状況等調査票

薬 局 名		
薬局開設許可番号		
記 入 者 氏 名		
連絡先	電話	
	FAX	
	e-mail	

### ○ 調査事項 1

貴薬局における採用医薬品数を先発・後発別に記載してください。

	採用医薬品品目数
先発医薬品	品目
後発医薬品	品目

### ○ 調査事項 2

貴薬局における後発医薬品調剤体制加算の状況について記載してください。  
(該当する字句、番号に○をしてください。)

体制加算の有無	有 り ・ 無 し	
体制加算の 施設基準	1	20%以上
	2	25%以上
	3	30%以上

### ○ 調査事項 3

貴薬局における後発医薬品への変更状況について記載してください。  
(直近3ヶ月【平成22年7月1日～平成22年9月30日】の状況を記載してください。)

3ヶ月間の取扱い処方せん総枚数	枚
内、「変更不可」の処方せんを除いた処方せん枚数	枚
内、後発医薬品へ変更した処方せん枚数	枚

○ 調査事項 4

先発医薬品から後発医薬品へ変更する際、患者さんや医師等とのやりとり等で工夫した点や変更に至らなかった場合の問題点等変更に関する事例を記載してください。

先発医薬品から後発医薬品への変更の際の参考事例等  
(工夫した点、問題点、課題等)

(例)

次回来局時まで変更を検討する時間を設け、検討するための資料を渡した結果、次回処方から後発医薬品に変更することとなった。



